

申請者	九州大学 教授 森 周司	2155016
国際会議名称	The 11th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR2015)	
開催期間	2015 年 11 月 26 日～11 月 27 日	
開催場所	JR 博多シティ会議室(福岡市博多区)	
申請者の役割	主催責任者	

概要：

Joint Workshop on Machine Perception and Robotics（略称 MPR）は、九州大学、北京大学、立命館大学の教員・学生・研究スタッフによる合同ワークショップであり、2005 年より毎年開催されている。その目的は日本と中国におけるパターン認識とロボット工学及び関連分野での研究及び技術交流と、両国の若手研究者の交流促進と育成である。11 回目となる今大会では、両国の若手研究者を中心として、19 件の口頭発表と 40 件のポスター発表があり、最近数年間の大会の中では最多の発表件数であった。また例年とは異なり、上記 3 大学以外の研究者からの発表も行われた。その発表内容は従来のパターン認識とロボット工学に加え、三次元実空間のモデリングと解析、バーチャルリアリティ、情報可視化など多岐に渡り、活発な質疑応答が行われた。2 件の基調講演では、それぞれ光環境と睡眠に関する生理心理学（樋口教授）と発展途上国での情報通信技術の活用（アシル准教授）に関する最新の知見が提供され、情報通信工学の実社会への応用に関して貴重な示唆が得られ、特に若手研究者に対し将来の研究の方向性に対し有意義な示唆が与えられた。また、MPR の創始者の一人で前九州大学教授の長谷川勉先生に特別講演をして頂き、発足よりおよそ 10 年目となる MPR の当初の目的を振り返るとともに、今後の MPR の発展に対し貴重なお意見を頂いた。以上の成果を基に、3 大学の参加者の間で、両国の若手研究者が緊密に交流して将来の MPR と日中での共同研究の発展を考えていくことが合意され、極めて有意義な会議となった。